

## 市民協働ファシリテーター制度について

京都市市民参加推進条例で、「政策の形成、実施及び評価の一連の過程において、市政参加の機会を確保すよう努める」旨が定められています。

また、市民参加推進計画（第2期改定版）では、「各局区・各職場における市民参加推進のマネジメント体制の強化」を掲げています。

これらに基づき、市民と協働した市政運営の更なる推進に向けて、市民との対話の場をこれまで以上に創出するため、5日間の実践的な研修を受けた職員を「市民協働ファシリテーター」に任命する制度を、平成29年度に創設しました。

現在87名が任命され、本年度も新たに、約30名の任命を見込んでいます。

市民協働ファシリテーターに任命された職員は、各所属がワークショップを実施する際の企画や運営とともに、行政課題解決のために行政と市民をつなげる支援を行いますので、希望されるご所属・ご担当者様は、総合企画局総合政策室（市民協働推進担当：222-3178）までお気軽に御相談ください。

## 1 目的

市政に対する市民意見を対話により引き出し、市民意見を適切に反映した政策の形成、実施及び評価、並びに市民と協働した市政運営を行う職員を増やすことを目的に、市民協働ファシリテーターの養成及び任命を行う。

## 2 任命

ワークショップの企画やファシリテーション能力を養う研修を受講した職員を、市長が、市民協働ファシリテーターに任命する。

## 3 役割

市民協働ファシリテーターは、所属長の了解を得た上で、以下の内容を**本務**として担う。

- (1) 自身の所属において、政策の形成、実施及び評価の一連の過程において、積極的に市民との対話の場を創出すること。
- (2) 市民との対話の場の創出について、他所属から相談があった場合に、企画のアドバイスを行うとともに、必要に応じて運営をサポートすること。
- (3) 翌年度以降の市民協働ファシリテーター養成研修をサポートすること。

### 特に相談いただける内容

- ワークショップの目的に沿ったテーマ（問い）、デザインの設定
- 市民から意見を聴くだけでなく、市民にも主体的に動いてもらうための、ファシリテーション
- ワークショップ当日の実際の運営のポイント
- 所管課だけでは解決が難しい行政課題に対して、政策融合、市民協働の視点から課題を再設定すること など

## 4 市民協働ファシリテーターの「活躍実績」と「新たな展開」

### <令和元年度の活躍実績>

#### (1) 市民との対話の場の企画・運営サポート（詳細は次ページ）

前年度に況して、延べ120名の市民協働ファシリテーターが各局区等の14件の市民との対話の場の企画サポート、当日のファシリテーションに派遣、活躍しました。

（30年度 13件 延べ56名⇒ R1年度 14件 延べ120名）

#### (2) 「京都をつなげる30人」への参加（Slow Innovation(株)主催）

京都に関わる企業やNPO、行政など様々なセクターから選ばれた30人が集まり、企業の持つビジネスモデルの知識、NPOの持つアートや社会課題の専門知識、行政の持つ政策形成の知識を持ち寄り、対話を繰り返し、またセクターを超えた次世代ネットワークを構築し、社会課題の解決のモデルを作り出すことを目指すもの。令和元年度は、4名の職員（うち市民協働ファシリテーター3名）を派遣し、社会課題解決のプロジェクトの企画運営、実践を行いました。

#### (3) 市民協働ファシリテーター自主研究会の発足（人事課・市民協働担当）

令和元年度から、市民協働による政策形成やまちづくりの推進のために、ファシリテーション技術、課題発見力、対人・グループコミュニケーション等について総合的に学ぶことを目的とし、市内の市民協働ファシリテーター全員による自主研究会を発足させ、任命期を超えたワークショップ型の交流会、外部勉強会への参加、未来設計実践塾との合同勉強会、Web会議勉強会等を企画しました。

#### (4) 市長ハートミーティングの実施（人事課・市民協働担当）

令和元年11月15日、市長と市民協働ファシリテーターグループによる第88回ハートミーティングを開催しました。ファシリテーターメンバーの発案で、同事業初のワークショップ型ミーティングを実施し、市長、ファシリテーターメンバーとの間で、活発な意見交換が行われました。

### <令和2年度以降の新たな展開>

#### (1) 行政課題解決に向けた更なる活躍

「市内・お困りごとバンク」を立ち上げ、市内各部署の抱える行政課題を、市民協働担当と市民協働ファシリテーターがサポートする取組を始めます。これまでのワークショップ開催支援とともに、所管課の抱える課題の共有、再設定、市内の連携、市民との協働型の解決の検討を、対話、ファシリテーション技術を使い支援します。

併せて、ウィズコロナの社会状況にも対応したファシリテーターの活躍のため、オンラインも用いたファシリテーション技術の習得にも取り組みます。

#### (2) 都市経営の視点も踏まえたイノベーション人材の育成

都市経営戦略室と連携し、本市が目指す、都市経営の感覚をもち、多様な主体と協働し、必要なリソースに自らアプローチできる人材の育成の一環として、市民協働ファシリテーター制度を進化させ、広い視野を持ち、市内横断的な視点で、政策を立案できる「イノベーションファシリテーター（※）」の育成に取り組みます。

※ 場の進行とデザインを行うことにとどまらず、幅広いステークホルダーを巻き込み、対話により主体的にアクションを引き出し、大きな変革の道筋（政策）を描くことができるファシリテーター。

○ 令和元年度市民協働ファシリテーター派遣実績

(別紙)

以下のとおり、延べ120名の市民協働ファシリテーターが各局区等の14件のワークショップ等の企画サポート、当日のファシリテーションに派遣され、活躍しました。  
 <令和元年度派遣実績>※依頼順

件名	派遣先	企画 (人)	当日 (人)
第2回元陶化小学校跡地活用ワークショップ	行財政局	—	2
COG2019アイデアソン	総合企画局	11	10
令和元年度山科区自治連合会連絡協議会総会「明日の山科を考える」におけるWS	山科区役所	—	9
北区まちづくり会議部会	北区役所	—	3
新施設の設計に係るワークショップ(2回)	保健福祉局	12	14
「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」取組についてのWS	総合企画局	—	3
"高瀬川と須原通への想いを語る会(東九条地区歩行空間等整備事業)"	都市計画局	—	3
西京区総合庁舎整備に向けたワークショップ(4回)	文化市民局	—	13
中京マチビトCafe特別編	中京区役所	—	8
下京区長Meet up	下京区役所	—	6
オール左京まちづくり交流会	左京区役所	—	10
第1回下京区民まちづくり会議 部会	下京区役所	—	2
次期上京区基本計画策定に向けての中学生とのW.S.	上京区役所	—	8
市民公募委員サロン	総合企画局	—	6
	計	23	97

(派遣先からいただいたコメント(抜粋))

<p>企画の段階では、自由なアイデアを誘発するような仕組み(「やばいぞ」等のフレーズを用いて課題を掘り起こす等)を考えていただき、結果的に参加者の皆様にも楽しみ、満足いただけるワークショップとなりました。</p>
<p>各テーブル参加者の人数が多かったです(最大8名)、うまく意見をまとめていただきました。夜間開催にもかかわらず、進行役を引き受けていただいたので、無事に部会を開催することができました。</p>
<p>ワークショップの企画段階から様々なアイデア・提案を頂き、その多くを取り入れさせていただきました。テーマに係るワークショップの趣旨や聞きたいポイントをよく理解し、的確な手法等を計画・実施していただきました。</p>
<p>ワークショップ当日の運営について、事前打合せで適切なアドバイスをいただきました。また、事前に整備予定箇所の下見をするなど、当事者意識をもってファシリテーションに取り組んでいただきました。</p>
<p>参加者は100名を超えており、様々な属性の方がおられましたが、市民協働ファシリテーターの方がうまく様々な意見を引き出しいただき、大変盛り上がりましたし、参加者の方の満足度も高く、市民協働ファシリテーターの方がおられなければ成り立たなかったと思っており、大変感謝しております。</p> <p>また、司会者の方からも、市民協働ファシリテーターはよい仕組みであり、市職員の方が様々な地域やテーマで前向きな市民の方と多数触れ合うことは、今後の市政にも役立つ、という御意見もいただきました。</p>